

News Letter

学校法人兵庫医科大学ダイバーシティ推進室



Pick up

兵庫医科大学イクボス宣言式
～教職員のキャリア形成と人生を応援！～

Report

- 若手研究者のための科研費支援セミナー
- ダイバーシティ講演会

News & Topics

2022年度 学内研究費助成採択者 等

Pick up

兵庫医科大学イクボス宣言式 ～教職員のキャリア形成と人生を応援！～

日時: 2022年10月4日

プログラム: NPO法人ファザーリング・ジャパン理事 川島 高之氏
による基調講演、イクボス宣言書への署名

役員・管理職をはじめ 141 名が参加した宣言式では、元祖イクボスである川島高之氏を立会人として、理事長・常務理事・学長ら 6 名の常勤役員が壇上にて署名し、「**教職員や学生一人ひとりが望む“キャリア形成”と“人生”を応援するイクボスとなり、多様な生き方を尊重し、それぞれが十分に能力を発揮し活躍できる環境を構築する**」と力強く宣言しました。イクボス宣言は、少子高齢化による労働人口の減少や働き方の多様化が進む現代における重要な経営戦略です。誰もが働きやすい職場環境の実現に向け、組織全体で取り組んでまいります。



Report

若手研究者のための科研費支援セミナー 「科研費獲得の方法とコツ」を 開催しました。

7月14日「科研費獲得の方法とコツ」の著書でご高名な久留米大学の児島将康教授をお招きし、ワークショップ及び講演会を開催しました。

ワークショップには 19 名が参加し、参加者から提供された申請書について、文章構成や書き方のコツを指導していただきました。

後半の講演会はハイブリッド形式で開催し、75 名の研究者が参加しました。良い例、悪い例と改良例を示しながら、申請書でアピールすべきポイントやレイアウトなどをご教授いただきました。参加者からは「査読者がどういった目線で審査しているかがよくわかった」「毎年講演会やワークショップを開催してほしい」といった感想がありました。



※本セミナーは、社会学連携・研究推進センター 産学連携・研究推進部門との共催で実施しました。

ダイバーシティ推進講演会

日時: ① 2022年6月30日
アンガーマネジメントアドバンス ～上手な伝え方入門

② 2022年10月7日
医療者のための日々役立つコーチング入門

講師: 広島大学医学部附属医学教育センター長、本学特別招聘教授
蓮沼 直子 先生

役員・教職員を対象に、コミュニケーションスキルに関する講演会を開催しました。これらのスキルは、医療従事者が患者やその家族と対応する際や、管理職が職場のマネジメントを考へるときなど、さまざまな場面で役立ちます。アンガーマネジメントは 121 名、コーチング入門は 65 名の参加があり、関心の高さを感じました。オンデマンド配信でも多くの視聴がありました。

参加者の感想

- ▶ 今まで「アンガーマネジメント」は“怒らないこと”だと思っていましたが、自分の中の怒りの感情に対してどのように対処し、相手に伝えるかということを知り今後の後輩指導に役立てていきたいと思いました。
- ▶ 多忙で余裕がないとイライラしがちですが、この研修で講師の先生が、自分の怒りを客観的にみて衝動・思考・行動をコントロールすることが大切であると言われていました。

イラッとしたら受講で学んだ事を思い出し、後悔しないよう日々過ごしていきたいと思えます。ありがとうございました。

▶ わかっていても出来ていないことや、自分の行動を振り返り考える良い機会となりました。

▶ 説明や例示はとても分かりやすく、自分の状況・環境に落とし込みやすかった。先生の講演を拝聴して、自分は無意識に「こうあるべき」を他人に押し付けてしまっているのだなと、反省する部分が多くあった。

2022年度 学内研究費助成採択者

女性研究者の研究能力向上、リーダーとして活躍する女性研究者のさらなる躍進、復職者の研究リスタート支援を目的に3タイプの研究費助成を行い、7名が採択されました。



キャリア応援研究助成（講師以下）

氏名（職名※/所属）	研究課題名
佐久間 理香 (助教 / 解剖学 細胞生物部門)	カルシウムイオン流入が引き金となる脳ペリサイト組織修復機構の解明と新規薬物療法の開発
土居 亜紀子 (助教 / 神経再生研究部門)	脳傷害誘導性幹細胞を標的とした新規中枢神経再生促進剤の創製開発に向けた基盤的研究
遠藤 のぞみ (助教 / 薬理学)	ストレスによる心身への影響の性差を検証するためのマウスモデルの確立
孫 安生 (助教 / 病原微生物学)	潰瘍性大腸炎発症における腸内細菌叢-宿主間相互作用のメカニズム解明

リーダーシップ向上研究助成（講師以上）

氏名（職名※/所属）	研究課題名
野瀬 聡子 (講師 / 小児外科)	早産児・低出生体重児における壊死性腸炎に関わる Pathobiont の探索
作間 未織 (講師 / 英語・臨床疫学兼務)	小児入院患者における予防可能な医原性有害事象の疫学

スタートアップ研究助成（復職して3年以内）

氏名（職名※/所属）	研究課題名
齋藤 碧 (助教 / 小児科学)	非侵襲的バイオマーカーによる小児期好酸球性消化管疾患治療戦略の検証

※職名は応募時点のもの

2021年度 学内研究費助成採択者による研究成果報告会

日時: 2022年6月22日 参加者: 報告者9名、ダイバーシティ推進室教員3名

昨年度採択者の報告会をオンラインで行い、各自の研究成果のほか、ワークライフバランスや今後の目標、ダイバーシティ推進に関する提案などを発表していただきました。

普段は交流の機会が少ない女性研究者が、この報告会を通じて繋がりを持つことで、今後、研究分野を超えたネットワークづくりに発展させたいと考えています。



ダイバーシティ推進室長
飯島 尋子 教授より

採択された先生方から、この1年間の研究成果を聞くことが出来て嬉しく思います。これを機に、ダイバーシティ推進室の活動にもぜひご参加ください。ワーキンググループでの意見集約など多くの人の意見を聞きながら、ダイバーシティ推進をより良いものにしていきたいと考えています。今後も大学の発展のために皆さまのご協力をお願いします。

報告会参加者の声

- ▶ 育児と両立しながら臨床・学生指導に尽力したい。現在の研究のほか、他施設共同研究にも参加しており、研究にも意欲的に取り組みたい。
- ▶ 兵庫医科大学は働きやすい職場だと思う。子どもがいると学会への参加が難しい。学内で研究のディスカッションの場や交流の機会があると嬉しい。
- ▶ 3年前に産休から復帰し、ようやく研究に取り組む時間も作れるようになり、今後は途中になっている論文を進めたい。ダイバーシティ推進室には教員がいて、色々な相談に乗ってもらえることが心強い。
- ▶ 子育ては、子どもの成長段階によって大変さや悩みが違う。自分の経験を先輩たちにも伝え、サポートしていきたい。

e+Learningによるセミナーのオンデマンド配信

ダイバーシティ推進室では、さまざまなセミナーや講演会をオンデマンドで配信しています。教職員は、登録をすれば自宅からでも e+Learning システムを利用することができ、時短勤務や育児休業中のスキルアップにも役立つと好評です。科研費セミナーや論文執筆セミナーなどのコンテンツが人気です。



編集後記

News Letter も vol.4 を迎え、このたびデザインを一新しました！気持ち新たに、頑張ってます。2022 年は、悲しいニュースも多く激動の1年でしたね。今年こそはコロナ感染症も終息し、皆様にとって幸せ多き年になることを心より願っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



発行

学校法人兵庫医科大学 ダイバーシティ推進室

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

TEL : 0798-45-6428 (直通)

E-mail : danjyo-kyodo@hyo-med.ac.jp

URL : <https://www.hyo-med.ac.jp/corporation/about/activity/diversity/office/>

